

平成27年度「グッジョブおだわら」における上位賞の結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
川東タウンセンターマロニエ及びダイナシティイーストにおける建物間熱融通事業	<ul style="list-style-type: none"> ダイナシティイーストの熱源機器の更新及び新設を機に、マロニエへ熱交換器の設置や配管接続を行い、空調用の冷温水をマロニエへ供給する建物間熱融通事業を実施した。 空調の総合的な効率化や設備容量の縮小並びに国の補助金の活用により、省エネ、省CO2、設備導入に係るコストの削減が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 両施設の既存熱源機器によるCO2排出量と比較して約16.9%の削減が見込まれる。 本事業に係る機器等は全て(株)ダイナシティが整備したため、マロニエの今後15年間の熱源機器に係る更新費用及び維持管理費等について、9,400万円の削減が見込まれる。また、設計も不要のため、業務量の削減が図られた。 	地域政策課 都市政策課 建築課	グッジョブ 大賞
高齢世帯等を対象とした、登録制の紙・布類の戸別収集サービス	<ul style="list-style-type: none"> 市古紙リサイクル事業組合、自治会総連合との関係により、高齢世帯等を対象とした、紙・布類の登録制戸別収集サービスを開始した。 紙・布類の運び出しが困難な世帯の負担を軽減し、サービスの向上が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 2月現在、約200世帯が戸別収集サービスを利用しており、利用者のごみ出しの負担が軽減された。 戸別収集の経費(約280万円)については、古紙組合が負担することとなり、市の負担は生じなかった。 古紙組合は、紙・布類が確実に回収できればその分の売却益を得ることができ、経費負担が小さくなる。 自治会も、自治会加入のメリットの一つとして活用できる。 	環境政策課	金賞
小田原セレクション事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域に長く根付いてきた名産品・特産品や地元で愛されている名物などの中から、「友人への土産にしたい」「お世話になった人に贈りたい」と思う、小田原の逸品を市民の方々が中心となり選考。 選考された上位商品を『市民が選んだ小田原みやげ』として、地域内外に広くPRし、地域産業の活性化を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 選定品事業者が選定されたことを自主PRに活用し、売り上げを伸ばした。 地元の良いものを一番知っている市民が選んだ商品であり、観光客等来訪客が一番知りたい情報が発信されている冊子である部分が、お客様からの評価が良かった。 情報発信部分も販売事業者やメディアの協力を促すことで、経費を削減した。 	産業政策課	銀賞

平成27年度「グッジョブおだわら」における上位賞の結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
行政財産目的外使用許可の見直し 〈市立病院〉	<ul style="list-style-type: none"> ・患者サービスの向上、経費の削減及び収入の確保等を目的として、行政財産目的外使用許可の見直しを図る。 ・入院患者に対し行っている入院用品セットの貸付けサービスについて、セット内容の見直しを行う。 ・セット内容に最適な業者を選定することで、患者の利用頻度を向上させ、貸付料の増収を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院用品セットを利用する患者が増加したことで、患者の入院前の準備に係る負担を軽減し、入院生活をより快適にすることに繋がっている。 ・患者が使用する日用品類を病院が無料提供することがなくなり、経費が削減された。 ・日用品類及びおむつを購入し、各病棟に届ける業務やおむつ代金の請求業務がなくなり、事務職員の負担の軽減が図られた。 ・新たな参入業者が常駐スタッフを配置したことにより、看護師の負担の軽減が図られた。 ・入院用品セットの見直しに伴い、不要となった在庫を業者へ売却し売却益が生じた。(452,088円) ・患者の入院用品セットの利用が増加し、市立病院の収入が前年度比で346.6%増加した。 	経営管理課	銅賞
ふるさと応援寄附金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと応援寄附金の寄附者に対し、小田原にゆかりのあるお礼の特典を付すことにより、小田原の魅力を広く全国にPRするとともに、歳入増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市には、海、山、大地の恵みを生かした多彩な産物が数多くあり、特典にそうした産物や体験ものなどをラインナップすることにより、小田原の魅力を広く全国に知ってもらえる。 ・平成27年9月～平成28年2月の寄附件数は4,582件で、寄附金額は155,321,703円 	広報広聴課 管財契約課	身近な改善 大賞